質問　学童保育の施設整備や職員の処遇改善を

川西　明徳　議員

結婚・子育て応援課長
保育環境整備や処遇改善は重要だ

質問　子どもの安全を守ることが第一義的に求められている学童保育の「従うべき基準」とされた職員の複数配置が、人手不足を理由に「参酌化」に改悪された。

指導員はその専門性が高く求められる職業だ。

抜本的な改善をはかり指導員不足の解決を図ることが求められる。

学童保育の社会的役割にふさわしい施設整備や職員の処遇改善が進まない最大の要因は、公的制度として裏づけとなる基準を明確にしないなど責任を放棄してきたことだ。

その姿勢は一貫して学童保育、子どもたちの安心・安全な育ちへの軽視だ。処遇の改善を求める。

結婚・子育て応援課長　コロナ感染症対策を踏まえた保育環境整備は重要だ。

放課後児童支援の処遇改善は、閣議決定されたコロナ克服・新時代開拓のための看護・介護・保育・幼児教育現場等の賃上げ効果が継続される保育士等処遇改善臨時特例事業だ。

今年2月分給与から賃上げに係る費用として仁多福祉会に交付する。

離婚後の子の養育費問題について

質問　離婚後の子の養育費問題の解決は、ひとり親家庭の子の、暮らしを改善するうえでも重要だ。

養育費の立替え払い制度、養育費取り立ての援助制度などの確立を国に求めるべきだ。

町長　本町では児童扶養手当を受給されている中の多くは、養育費を受け取っていない。

そのことが経済的困窮の一因と推察される。

令和2年1月、法務大臣は、国による不払い養育費立替制度創設に向けての勉強会を開催された。

養育費の不払い問題の解決支援、ひとり親の悩み事などを把握しながら、国へ、ひとり親家庭の暮らしの改善ができるよう要望をしていきたい。

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化について

質問　新型コロナウイルス感染拡大の長期化は、多くの中・小規模事業者の経営をかつてない危機に直面させている。

中小企業が元気になってこそ、地域が元気になり、奥出雲町経済の未来にも道がひらける。

地域中小企業政策を発展させることが必要だ。

町長　小規模事業者事業継続支援補助金を創設し、小さな商店などの事業継続のため設備投資を支援している。

委員会報告

広報公聴常任委員会

公聴についてお知らせ

町議会は公聴活動として、町民の皆様から議会議場で、町の未来や暮らしについての提案や意見等を述べてもらい、政策に反映する、（仮称）町民一日議会を開催する予定です。開催期日など、詳細については今後、皆様のご意見も参考に、決定していきます。多くの皆様の意見発言をお願いします。

浜田市議会での市民一日議会の様子

総務経済常任委員会

各種団体との意見交換会報告

総務経済常任委員会では、以前からの課題であった生産団体・経済団体との意見交換会を2月22日に実施しました。

午前中の小売店4社との意見交換では食肉販売・酒小売・写真販売・家電販売各店に参加いただき、町内の消費状況、消費者の意向、店の販売実情などをうかがいました。

午後にはNPO法人布勢の郷、「長者の湯」を訪問し、館内視察の後、来店者の動向、経営の実情、経営方針など多岐にわたって意見交換をしました。

いずれも熱心な質問、議論を交わすことができ、議員活動に貴重な情報等を得ました。

初めての開催でしたが、今後も定期的に広範囲の開催を模索し、計画してまいります。

午前の部

午後の部

学校再編・再開発特別委員会

令和3年11月から令和4年3月までに7回の委員会を開催し、本会議において以下のとおり報告しました。

小学校再編統合について

奥出雲町内の小学校を再編統合し仁多地域に1校、横田地域に1校とする件については町の方針通り進めるべきと判断する。

統合小学校の場所について

⑴横田地域統合小学校

現横田小学校を新横田地域統合小学校とすべきと判断する。

⑵仁多地域統合小学校

・横田地域と同様に令和7年4月の開校を目指して取り組むことを第一として進める。

・統合小学校の場所は、現仁多中学校の隣接地が妥当と判断する。

布勢小学校、三成小学校の安全対策について

以下の対応策のうち早期に実施可能な方法で児童の安全を確保すべきである。

⑴空き校舎での対応

⑵仮設校舎（リース）で対応

⑶耐震改修工事を実施することにより安全性を確保する

将来を見据えた学校再編及び統合校舎の建設について

生徒数の減少が現在の将来見込通りに進むとすれば中学校の統合あるいは小学校や中学校のあり方、さらには横田高校への進学率確保についても検討すべきと判断する。

・統合小学校の場所